

平成30年9月9日執行 奥出雲町長選挙の開票結果について

奥出雲町選挙管理委員会

勝田康則町長が9月20日に任期満了となることから、奥出雲町長選挙を9月4日告示、9日投開票で行いました。

定数1人に対し、現職1人、新人1人の計2人の立候補があり、9日午後7時40分から町民体育館で行われた即日開票の結果、次のとおりになりました。

候補者氏名(届出順)	得票数
松本 けんじろう	2,843票
勝田 やすのり	5,585票

－ 投票結果 －

区分	確定有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
男	5,339人	4,086人	1,253人	76.53%
女	5,776人	4,395人	1,381人	76.09%
計	11,115人	8,481人	2,634人	76.30%

※町長就任あいさつにつきましては広報10月号に掲載します。



横田中男子11年ぶりの全国制覇



奥出雲町で開催となった第48回全日本中学生ホッケー選手権大会が、8月17日から20日にかけて三成公園ホッケー場で行われ、開催地代表と全国9ブロックで出場権を得た男女各24チームが参加しました。

17日に町民体育館で行われた開会式では、仁多・横田中学校の吹奏楽部によるアトラクションの後、松原典生大会実行委員長による開会宣言がありました。また仁多・横田中学校の男女ホッケー部の主将が選手宣誓を堂々と行い、大会の幕が開けました。

18日の予選リーグ試合開始前には、改修したホッケー場のこけら落としとして溝口善兵衛島根県知事と本町出身の五輪出場選手4人による始球式が行われ、選手たちからパスを受けた溝口知事がシュートを決めました。また、会場には2020年の東京五輪インドチームの事前キャンプ誘致に向けインドの文化を紹介する特別ブースも設けられました。

第48回全日本中学生ホッケー選手権大会

仁多・横田中学校 男女ホッケー部が出場

予選リーグでは、ブロック大会を勝ち抜いた強豪チームが熱戦を展開。保護者や観客の応援により、会場は大いに盛り上がりました。熱戦の末、地元からは仁多・横田中学校男子、横田中学校女子が決勝トーナメントに進みました。

決勝トーナメントでも激戦が繰り広げられ、横田中学校男子が準決勝進出を決めました。最終日の20日、準決勝で山形県の川西中学校と対戦し、2-2の同点からのシュートアウト戦で勝利。決勝は兵庫県の篠山・丹南中学校と行い前半1-0で先制。後半に同点に追いつかれるも、地元からの声援を受けた横田中学校が決勝ゴールを決めました。優勝を告げるホーンが鳴り響くと、応援席からは歓声が上がり、横田中学校男子が地元開催で11年ぶり4度目の優勝を手に入れました。

奥出雲たたらブランドプロジェクト ブランド認証作品・製品の決定

町が設置した奥出雲たたらブランド推進会議では、奥出雲たたらブランド憲章を制定し、自然、人、鉄が織り成す物語に裏づけされた「もの」を奥出雲たたらブランドとして認証することになりました。

5月30日から8月17日にかけて、玉鋼を主材料とした作品・製品を募集したところ、全国から13点の応募がありました。8月30日には、役場仁多庁舎で第1回奥出雲たたらブランド認証審査会を行い、学識経験者や地元関係者で構成された審査員9人が審査しました。

審査の結果、13点すべてを認証することになり、代表して玉鋼和包丁「天叢雲」を製作した鍛冶職人の楠亀代徳さん(鳥上)、玉鋼ペンダントトップ「草薙」を製作した(株)ふいごジャパンの足立雅人さん(横田)に認定証を付与しました。

作品が認証された足立さんは「たたらブランド認証をきっかけに、たたら以外にも良いものがた



▲応募作品を審査する審査員

くさんあることを国内外に発信していきたい」と話されました。

このブランド認証により、玉鋼の日本刀以外への新たな用途の可能性と「たたら製鉄」の更なるブランド化を図り、今後は地域活性化につながる事が期待されます。